

## アジア政経学会 2015年度第1回理事会 議事録

1. 日時 2015年4月26日(日) 1515~1800

2.会場 立教大学池袋キャンパス 12号館地下1階第3・4会議室

3.理事・監事総数 26名(理事24名、監事2名)

4.参加者 23名

理事：磯崎、大橋、梶谷、金子、加茂、川島、巖、小嶋、澤田、清水、園田、高橋、高原、竹中、田村、中溝、丸川、三重野、山田、山本、渡邊、

監事：滝口、佐藤

欠席：3名 永井、平岩、松田

### 6. 議事

(ア) 15時15分に竹中千春理事長が議長席に着き、開会を宣言、総務担当・川島真理事から、本日の欠席者が21名にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、川島氏、丸川氏の2名、滝口、佐藤の両監事を指名し、いずれもこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2014年5月31日)の理事会議事録の確認をおこなった。

#### ◆ 議案1 会員投票の結果報告について [竹中・川島・金子・山田]

竹中理事長より、回収資料「2015年会員投票」、および「役員一覧」に基づいて、会員投票の結果について説明がなされた。今回の会員投票は理事・監事の選出に関するものであり、開票は、3月9日に金子理事、山田理事の立ち会いの下、竹中理事長、川島総務がおこなった。投票総数は258票、有効票数が250であった。

#### ◆ 議案2 新役員候補について [竹中]

会員投票の結果をふまえ、民主的に決定することを旨とし、上位15名については理事候補とし、それ以下については年齢や地域バランス、さらに業務内容などを考慮して選出することが提案された。また理事長や監事経験者の一部を評議員候補として評議員選定委員会に提案して審議することが提案された。理事については最終的に評議員での決定になるため、まずは評議員候補の選出に関して話し合わせ、いずれも承認された。

#### ◆ 議案3 事業概要報告書案について [竹中・川島]【資料①】

川島総務担当理事より資料①に基づき、「事業概要報告書」の説明が行われた。同報告書は理事会において承認された。

#### ◆ 議案4 会計報告書案(予算書・収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表・財

産目録) および財務状況について

[小嶋]

小嶋理事より、平成 26 年度収支計算書に基づいて決算報告が行われた。ついで滝口監事、佐藤監事より「監査報告の付帯文書」に基づいて監査報告がおこなわれ、審議の上、承認された。次に、平成 27 年度予算書については、J-STAGE の部分などが前理事会とは異なる数値となっていることなどが説明され、審議の上、承認された。竹中理事長から現在の学会の赤字体質が問題提起され、次期理事会の体制においてはこの点を改善して欲しい旨、指摘された。

◆ 議案 5 2015 年度全国大会について

[竹中・倉田]

竹中理事長より、「アジア政経学会全国大会」に基づいて説明がなされた。実行委員長は倉田徹会員。欠席した倉田会員に代わり竹中理事長から、会場、書店、冊子の印刷などについて報告がなされた。また 2015 年度大会は元来明治大学で開催予定であったところ、会場確保が困難であったので、立教大学での開催となったことが、改めて説明された。

◆ 議題 6 2015 年度全国大会企画について

[高橋]

高橋理事より、時間の大枠（各分科会、自由論題、共通論題、理事会・評議員会、懇親会などの配置など）が報告され、共通論題と分科会の重なりなどについて問題提起がなされ、修正をくわえることを前提に、承認された。また、はじめての試みとしてトンチャイ教授の特別講演会を設けること、招聘諸経費については、立教大学で引き受けることが竹中理事長から提案され、承認された。また、非会員の参加に関しては、参加費を徴収することが決定された。

◆ 議題 7 2015 年度秋期大会について

[竹中]

竹中理事長より、評議員会の賛同を得る必要もあるものの、2015 年度から秋季大会を一本化するとの方針で秋季大会を計画していることが提案され、承認された。なお、高原理事から、本学会では西日本在住の会員の報告の機会を確保することを一つの狙いとして、東西開催となっていたことが説明された。丸川理事より、今年度は、常磐大学にて 10 月 17 日に開催されること、実行委員長に中岡まり会員が充たることが説明され、承認された。

◆ 議題 8 『アジア研究』の刊行計画／投稿規定について [丸川] 【資料②】

丸川理事より、資料②に基づき、『アジア研究』刊行状況と計画について報告され、承認された。現在の計画では、2015 年 7 月で遅れを取り戻すことができるということになると報告された。ついで、「『アジア研究』投稿要領、執筆要領改正案」に基づいて説明がなされた。英語での投稿を認めること、ワード機能に対応することなどについて提案され、審議の上、承認された。英語での投稿については、これまで以上の編集業務が発生する可能性が指摘され、英文の執筆要綱も含めて、状況を見ながら判断することとなった。

◆ 議題 9 J-STAGE について [丸川]  
特になし。

◆ 議題 10 優秀論文賞について [大橋・渡辺]【資料③】  
大橋理事から、資料③に基づき、第 12 回アジア政経学会優秀論文賞受賞候補について諮られ、承認された。また、次回の優秀論文賞の大賞については、特集論文も審査対象に含めることが諮られ、承認された。

◆ 議案 11 ニュースレターの編集状況について [清水]  
清水理事より、43 号が入稿され、近く刊行されることについて報告され、承認された。また、本日の研究会についても、記事として今号に含める予定であることが報告された。発行については『アジア研究』との同送を想定しているが、それが大会に間に合わない場合には単独送付となることが報告された。

◆ 議案 12 ホームページの更新について [加茂・梶谷]  
梶谷理事より、平成 26 年度の議事録の更新の必要性が指摘され、総務担当がおこなうことが確認された。

◆ 議題 13 学会ロゴについて [加茂・梶谷]【資料④】  
梶谷理事より、資料④に基づき、ロゴ案とともに契約方法について提案され、承認された。ロゴ作成費は 3 万円（税別）であり、今後はこのロゴを自由に使用することができるという知的財産権についても確認された。但し、デザイン変更をする場合には事前に相談する必要があることが報告された。また『アジア研究』にロゴをつけること、付ける場合には学会誌の末尾に（株）総佐衆の名をいれておくということが提案され、承認された。支払いは平成 27 年度予算で支払うことになることが承認された。

◆ 議案 14 定例研究会について [巖・磯崎]  
巖理事より本日、9 名の参加を得て定例研究会がおこなわれたことが報告された。今期は三度開催したが、若手会員の報告を引き出すことができたとの指摘がなされた。また、研究会報告要旨もウェブサイトに掲載することを検討していくこととなった。

◆ 議案 15 国際交流 [園田]【資料⑤】  
園田理事より、資料⑤に基づき、全国大会の国際セッション案について報告がなされ、承認された。内容は、「中国脅威論を越えて」とされており、日本での議論とは異なる議論が紹介され予定で、かつオーストラリア、フィリピン、マレーシア、台湾など各地のアジ

ア研究をリードする方々に報告していただくことになっていると紹介された。なお、経費はサントリー文化財団から支弁されることになっていることが説明された。竹中理事長からは積極的な広報活動を行うよう、要請された。

◆ 議案 16 倫理綱領 [田村]【資料⑥】

田村理事より、資料⑥に基づき、倫理綱領案に基づいて報告がなされた。本案は、12月20日の理事会にて既に提案したが、その後、磯崎、永井、山本各理事と相談して策定されたこと、多くの学会がこうした綱領を有していることなどが報告された。また、竹中理事長より、制度趣旨としては研究者の教育、研究活動を守るためにおこなうこと、またこの間にあった議論や昨今の状況について紹介された。なお、罰則規定については、種々議論があるところであるが、こうした点も含め、パブリックコメントや法律家によるチェックなどをおこなった上で、次回の総会で決議していくことが提案され、承認された。また、委員会の設置については綱領の一部とすることには問題があるとの指摘がなされ、附則で規定して修正案を作成することとなった。

◆ 議案 17 入・退会者について [川島]〈回覧資料〉

川島理事より回覧資料に基づき、入・退会者の説明が行われた。

◆ その他

三重野理事より、2014年度西日本大会について報告がなされ、103名の参加を得て西日本大会としては大きな大会となったことが報告された。また概ね予算内で賄えたものの、一部アルバイト代に関して足が出たため、後日財務より補填された旨、報告された。今後の検討課題として、非会員から託児所の使用が希望された場合の対応が提起された。

以上

竹中理事長が18時00分、閉会を宣言して審議を終了した。